



Title	大阪大学低温センター 50周年記念誌 まえがき
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センター 50周年記念誌. 2025
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102088
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

まえがき

大阪大学低温センターは1971年に発足し、2023年にコアファシリティ機構に統合されるまでの52年間、大阪大学における低温研究を支えてまいりました。また、低温研究者コミュニティの和を広げるため、1973年より「低温センターだより」を発行し、「阪大オリジナル」にこだわった編集を続け、本学で生まれた研究成果を広報してきました。50年余りにわたり、学内の教育研究支援組織として活動してまいりましたが、2023年4月に低温センターは全学的な機器共用の推進や工作支援を担ってきた科学機器リノベーション・工作支援センターと統合し、新たにコアファシリティ機構 低温科学支援部門として再出発いたしました。本機構は、研究基盤や研究支援体制の全学的な整備・強化を行う目的で設置されました。

低温センター発足や低温センターだより発刊から、すでに50年以上が経過しましたが、今回の組織改編を機に、低温センターだより編集委員会では「低温センター50周年記念誌」の発行を企画いたしました。この記念誌には、歴代の低温センター長・副センター長、運営委員会委員長、低温センターだより編集委員長および編集委員、そして大口液体ヘリウム利用研究室出身の先生方を中心に寄稿をお願いし、40名を越える方々から心温まるお祝いの言葉をいただきました。多忙の中でご寄稿いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。なお、著者名の下には、低温センターに関連する役職名、在任期間、所属研究室を記載しております。1992年には低温センター20周年記念誌として「低温の歩跡」が発行されましたが、この冊子はその後の30年の「歩跡」が綴られた記念誌となっています。

ご高覧いただくことで、コアファシリティ機構の一部門となった低温科学支援部門が新たな取り組みを始め、未来を見据えてさらに発展する様子をご理解いただけるものと存じます。大学は現在、財政的に厳しい状況に置かれておりますが、今後50、100年と本学の低温研究を発展させるため、縁の下の力持ちとして努力してまいります。

今後とも、さらなるご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大阪大学コアファシリティ機構

低温科学支援部門長 竹内 徹也